

平成十六年『路』年間賞

選考委員 高橋里江子・小泉正巳・二宮茂男・保田二郎・

藤原和美・瀧 正治・江澤多香子・金子美知子

最高賞(賞状・入賞句彫刻楯)

糊代が足りないままに兵ら征く

荻原 鹿声

(特選) 里江子 和美 正治

優秀賞(賞状・入賞句彫刻楯)

ごった煮の中から匂い出す未来

鈴木 泰舟

(特選) 里江子 多香子 (秀逸) 二郎

山頂のバンザイが又ゼロ地点

内平登代子

(特選) 茂男 二郎 (秀逸) 美知子



荻原 鹿声

最高賞

自分の時事吟ではない、社会性のある句を書きたいと吐露したことがある。試行錯誤の連続ではあるが受賞句は、昨今の危うい世相の一端を、自分なりに訴えることができたのではないかと思う。推薦者並びに選考委員の皆様には、心から感謝申し上げます。



鈴木 泰舟

優秀賞

最近公私共に忙しく、いくつかお世話になっている吟社の毎月の課題や雑詠を締め切り直前に投句している状態でした。受賞の連絡をいただき、私にやる気を出させていただきました。受賞句の「ごった煮の中から匂い出す未来」は、私の思想です。



内平登代子

山歩きの好きな方なら御存じと思うが、山頂に立つ喜びの後に長い下りが待っている事を。中年を過ぎての下り坂の難しさ。一度笑い始めた膝は言う事を聞かない。それでも又次の山を目指す。起伏の多い川柳の尾根道を踏かぬようにと肩を叩いて頂きました。

次点

糸切れて夙本当の風を知る	岩淵 不弁
(特選) 茂男 多香子	
床ずれをただ裏返す砂時計	小泉 正巳
(特選) 正治 (秀逸) 和美	
また画けばいいさ砂絵の反戦歌	瀧 正治
(秀逸) 茂男 和美	
テロの血に慣れた夕餉の笑い声	高橋里江子
(秀逸) 正治 多香子	
断絶のない猿山の毛繕い	神戸みず帆
(秀逸) 美知子(佳作) 里江子	
程々の殺意 定年間近まで	高橋里江子
(特選) 正巳	
晩字の余韻行ったり来たりする	結城まさる
(特選) 正巳	
養殖の貌があふれる若い街	吉澤 和子
(特選) 二郎	
にんげんがつくる砂漠と気づかない	鈴木 泰舟
(特選) 和美	
徘徊の母に食いたい平手打ち	瀧 正治
(特選) 美知子	
終末か半狂乱の陸と海	高橋里江子
(特選) 美知子	
ふり向けば戯画一枚という寒さ	田中寿々夢
(秀逸) 里江子	
八ローワークで孔雀の羽は置まれる	大黒谷サチ工
(秀逸) 里江子	
月を消す月に侮られた夜は	樋口 仁
(秀逸) 里江子	
終身刑ひとりつきりの年を越す	江澤多香子
(秀逸) 正巳	
何ごとを担ぎに行った紙兜	藤原 和美
(秀逸) 正巳	
紛れなく期するものあり花を買う	岩淵 不弁
(秀逸) 正巳	
風がどう吹こうと靴は揃えられ	田中寿々夢
(秀逸) 茂男	
影法師まだ頼杖を突いている	荻原 鹿声
(秀逸) 茂男	

合併で生まれた椅子の水たまり	荻原 鹿声
(秀逸) 二郎	
もやもやを癒してくれる風の道	中野沙千古
(秀逸) 二郎	
モノクロの野面に浸みる妻の雨	土谷 正
(秀逸) 和美	
首塚のまわりに埋める美辞麗句	小泉 正巳
(秀逸) 正治	
帰り花一つ咲かせて老い上手	佐藤 章子
(秀逸) 正治	
真つ先に散った桜は熱いまま	内平登代子
(秀逸) 多香子	
日本に溢れる保温中の貌	後藤 洋子
(秀逸) 多香子	
行軍の一糸乱れぬ肌寒さ	妹尾 安子
(秀逸) 美知子	
ここからが冬ケータイにひとり言	渡辺 誠也
(佳作) 里江子	
雑居ビル明日のわたしとすれちがう	古俣 麻子
(佳作) 里江子	
深呼吸ひとつレモンの雨が降る	高橋里江子
(佳作) 正巳	
雨そつとミミズの夢の中に降る	小幡 完治
(佳作) 正巳	
自画像の首まで潮が満ちてくる	樋口 仁
(佳作) 正巳	
人のなさけの分かる涙で老いてゆく	神谷三八朗
(佳作) 茂男	
バイオリンの切なさ春のうすぐらさ	樋口 仁
(佳作) 茂男	
有刺鉄線 妥協はしない眉を引く	吉澤 和子
(佳作) 美知子	
裸婦像を芸術的な顔で見る	井上 東風
(佳作) 二郎	
あの方もテレビどつりに散歩中	佐々木慶子
(佳作) 二郎	
どつ虹を描いてもわたし渡れない	神谷三八朗
(佳作) 二郎	
風の子がいなくてうつる冬木立	谷田部富義
(佳作) 和美	

千切れ雲履いて宇宙を歩きたい	安野 吞酔
(佳作) 和美	
クリックをしても動かせないヒト科	佐藤 章子
(佳作) 和美	
また敵を作ってしまう逆上がり	岩淵 黙人
(佳作) 正治	
見送った時からかけぬドアの鍵	古俣 麻子
(佳作) 正治	
肩書きを取ってもついている首輪	鈴木 安弘
(佳作) 正治	
爛冷ましこれも一つの水たまり	小泉 正巳
(佳作) 多香子	
感情を全開にして叫ぶ海	大石多美恵
(佳作) 多香子	
丸くなりすぎて意見も出ない口	栗原 俊一
(佳作) 多香子	
ふる里のほうを向いてる影法師	荻原 鹿声
(佳作) 美知子	
じつくりと自分に戻す深呼吸	鈴木 泰舟
(佳作) 美知子	
切れそいでつながる妻の糸電話	松方 尚義
(佳作) 美知子	